

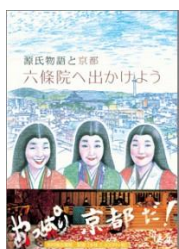
今回は…【平安貴族と年中行事】に関する図書をご紹介します

【年中行事】とは、一定の時期に毎年慣例として行われる儀式や催し物。

『大辞泉』（松村 明／監修 小学館）下巻 p2809より

◆『平安朝の歳時と文学』（北山 円正／著 和泉書院）請求記号 L/386. 1/キ

平安時代の行事の内容や意義について触れ、年中行事や季節の風物が文学作品にどう現れ、作者が何を描こうとしているのかに着目し、行事の内容や意義を探ります。



◆『六條院へ出かけよう 源氏物語と京都』

（五島 邦治／監修ほか 宗教文化研究所）請求記号 L/210. 36/口

『源氏物語』の六條院行幸の場面模型や、京都の年中行事について解説された一冊。第二部「六條院 四季の移ろい—京都の年中行事—」では、平安時代の年中行事が月ごとに紹介されています。

◆『平安京と王朝びと 源氏物語の雅び』

（村井 康彦／監修ほか 京都新聞出版センター）請求記号 L/210. 36/へ

平安京の暮らしについて、貴族の住まい、衣装、仏教などが紹介された一冊。「貴族の暮らし」（五島 邦治／著）では、月日や干支を決めて行われた宮廷の年中行事にも触れています。



◆『平安朝の生活と文学』（池田 亀鑑／著 筑摩書房）

請求記号 L/910. 23/イ

「源氏物語」や「枕草子」などの文学作品をはじめ、さまざまな古記録から、宮廷の人々の生活を復元。第六章「宮廷の行事」では、宮廷で行われる行事の中から、特に後宮女性に関係の深いものについて解説しています。

◆『日本の絵巻 8 年中行事絵巻』（小松 茂美／編 中央公論社）

請求記号L/721. 2/ニ/8 庫1（※書庫にありますので、職員におたずねください）

平安時代における宮中の儀式や、祭事、民間の宗教上の風俗など、当時の行事の様子が描かれた資料です。

このほかにも、関連する図書を所蔵しています。
京都コーナーには【平安京関連図書コーナー】もあります。
貸出・閲覧や、調べ物のおてつだいをご希望のかたは、
中央図書館 2階・参考図書室へおこしください。

